

あきらめない、

ふたつの未来。

不妊治療とキャリアを両立できる社会へ



Interview 株式会社 エノモト 株式会社 YSK e-com 株式会社 ササキ



山梨県



子どもとの未来を描くこと、

好きな仕事を続け

自分らしいキャリアを描くこと、

そのどちらも大切にしたい

それは、とても自然で、大切な想いです。

不妊治療は、身体だけでなく、心や時間、

そして仕事との向き合い方にも大きな影響を与えます。

「仕事を続けられるだろうか」「周囲に迷惑をかけないだろうか」

そんな不安を抱えながら、

誰にも相談できずに悩んでいる方も少なくありません。

本冊子では、不妊治療と仕事の両立に理解を示し、

制度を整え、働く環境づくりに積極的に取り組むだけでなく、

「一人ひとりの想いや未来に寄り添うこと」を大切にしている

山梨県内の企業の姿をお伝えします。

## くるみんプラスとは…



次世代育成支援対策推進法に基づき、「くるみん認定」、「プラチナくるみん認定」等を取得している企業のうち、不妊治療と仕事との両立に積極的に取り組んでいる企業に対して、厚生労働省が認定する制度です。

認定を受けた企業は、不妊治療のための休暇制度や柔軟な働き方の整備、社内研修等の実施や相談できる担当者の選任・周知を行い、治療中の社員が安心して働き続けられる取組を実施している企業です。

※「くるみん認定」とは、次世代育成支援対策推進法に基づき、策定した行動計画の目標を達成し、一定の要件を満たした場合、申請を行うことにより「子育てサポート企業」として厚生労働省が認定する制度です。

また、「プラチナくるみん認定」とは、「くるみん認定」又は「トライくるみん認定」を受けた企業のうち、より高い水準の取組を行った企業が一定の要件を満たした場合、申請を行うことにより、優良な「子育てサポート企業」として厚生労働省が特例認定する制度です。

今も未来も、  
諦めない

## Index

### 企業 Interview

- 4 株式会社 エノモト
- 6 株式会社 YSK e-com
- 8 株式会社 ササキ

### 不妊治療について

- 10 不妊治療とは
- 11 山梨県 令和7年度  
不妊治療に関する  
意識と実態調査アンケート
- 12 山梨県で受けられる  
不妊治療の支援と相談先

「人」こそが、ものづくりの原点。  
だからこそ、大切な従業員が  
幸せを実感できる  
会社であり続けたい



制度を作り有効に活用するためには  
まず問題の本質は何なのか  
聴き切ることが大切

エノモトでは20年、自己申告調査を行って従業員がどのような問題に直面しているのかを把握し、それに対してどんなことが必要かを考えていくことを地道に続けています。制度は「使える制度」であることが大事ですから、従業員の声に真摯に向き合いニーズを知らなければ「あって良かった」と思ってもらえる制度は生まれません。偏見や思い込みをすることなく、話を最後まで聴き切ることを大切にしています。

### 本音を話してもらえる環境をつくり 自己決定できるよう寄り添う

不妊治療と仕事の両立支援に取り組み、実際に子どもを授かったという喜びの声も届いています。エノモトでは他にも育児、介護、私傷病など様々な両立支援を行い、積立休暇制度や特別休暇制度など独自の制度も設けています。また社内に両立支援相談員を3名置き、さらに「エノモトポータル」というイントラネットでも相談を受け付けられるようにしています。本音を話し心の中を整理して、やってみようとして自己決定することが前に進むことに繋がると考えています。



「問題になる前に、気軽に話せる雰囲気作りが大切」と話す矢島さん



株式会社 エノモト



HP

■ 設 立 1967年4月(創業1962年7月)  
■ 従業員数 658名(うち女性115名)  
■ 事業内容 各種半導体用部品及び電子部品製造、各種精密金型・自動機械装置等の開発、設計、製作

■ 住 所 〒409-0198 山梨県上野原市上野原8154-19  
■ 電 話 0554-62-5111

両立支援相談員のふたり

### 経営の中心は人であり 健全なものづくりを通じて 豊かな社会の実現に貢献する

株式会社エノモトは1962年の創業以来、確かな技術で広範囲なジャンルの高度な金型技術を駆使しながら、エノモトにしかできないものづくりを極めてきた、暮らしに欠かせない「ものづくり」企業です。国内外に拠点を展開し、電子部品および半導体用部品の分野における独自の高度な生産技術と超精密複合加工技術から成る、プレス・メッキ・樹脂成形の一貫生産体制を構築してワンストップでお客様の要望に応え、高品質な超精密部品を短納期かつ大量に生産し、お客様にお届けすることを可能としています。

株式会社エノモトでは、「経営の中心は人であり、健全なものづくりを通じて、豊かな社会の実現に貢献する」という経営理念に基づき、従業員一人ひとりが安心して就業継続することを目指しています。

2018年に山梨県内で初めて「プラチナくるみん」認定を取得、2023年には「プラチナくるみんプラス」認定を取得するなど、ライフステージに応じた両立支援体制を充実させ、支え合える人間関係づくりで健康的な職場風土を実現しています。

Interview

株式会社エノモト  
総務部 部長代理  
産業カウンセラー  
国家資格・2級キャリア  
コンサルティング技能士

矢島 和久さん



### 変化する環境やニーズに応える 仕組みづくりを模索することが必要

不妊治療だけでなく、介護や病気など不安はあると思います。だからこそ、会社が寄り添うことで不安が少しでも和らぎ、これからも従業員が希望を持ちながら前を向いて進んでいけるよう、会社としても、この制度で大丈夫、両立はできていると思込まずに、変化を続ける社会環境や労働環境に対応した仕組みづくりを模索していく必要があると考えています。

#### 不妊治療と仕事の両立に関する制度

- 特別休暇制度  
不妊治療休暇(年間10日)  
つわり休暇(年間20日)  
妊産婦通院休暇(上限なし)
- 積立休暇制度  
不妊治療休暇(上限なし)

#### 育児に関する制度

- 出産祝い金  
一子につき25万円を支給(双子の場合は50万円)
- 子育て応援金  
育児休業を取得した期間に応じて4万円から最大50万円を支給
- 特別休暇制度  
産後パパ育児休業休暇(4週間)・育児休業休暇(5日)・養育両立支援休暇(年間10日)
- 積立休暇制度  
子の看護休暇(年間15日)  
育児目的休暇(年間10日)

※休暇制度については、時間単位で取得可能、すべて有給の休暇です

# 社員一人ひとりが笑顔で 働き甲斐を感じながら、明るく元気に 働き続けられる職場づくりを目指す



より高い水準で不妊治療と仕事の  
両立をサポートする企業として、  
プラチナくるみんプラス認定を取得

YSK e-comでは、くるみん認定取得後、さらなる仕事と家庭の両立支援と雇用環境の整備を目指し2022年9月に『次世代育成支援行動計画』を策定しました。男性社員の育児休業取得率を30%以上にすること、不妊治療と仕事の両立支援に関する制度を設ける目標を掲げ、いずれも達成できたことなどが評価されプラチナくるみんプラス認定の取得に至りました。

## 社員を尊重する会社の風土が あるからこそ、社員主導のより良い 職場環境づくりが実現していく

YSK e-comには7つの委員会とそれを取りまとめる事務局があり、多岐にわたる視点から社員の声を組み上げて、サポートしていく活動を行っています。このように社員が自発的な発案や発言をして行動を起こすことができるのは、会社が社員を大切にしてくれる風土があるからです。社員目線で社内改革に取り組めることはYSK e-comの強みだと感じます。



見晴らしの良いフリーアドレスのオフィス。個室も備え、気分や業務に合わせて自由なスタイルで働けます

### Ysk e-com

株式会社 YSK e-com



■ 本社	■ 設立	1986年12月2日
■ 住所	■ 従業員数	260名(うち女性55名)
山梨県甲府市湯田	■ 事業内容	官公庁・民間向けシステム
1-13-2	開発、サーバー・ネットワー	ク構築、データセンターの
■ 電話	055-236-1111	運用・保守、IT機器の販売と
■ F A X	055-236-1166	トータルサポートなど

Interview

株式会社YSK e-com  
ソリューション事業部

塚原 奨さん(左)  
佐々木 和磨さん(右)

## 質の高いソフトウェアは 人間味豊かな人材が生み出す

株式会社YSK e-comは官公庁・民間企業向けのシステム開発、サーバの構築・導入支援、ハードウェア販売などの事業を主に展開する情報化社会の担い手企業です。山梨県内をはじめ全国各地のクライアントに最新の情報サービスを提供するために、プロ集団が『人々の豊かな暮らしのアシスタント』としてIT社会の発展に日々取り組んでいます。

『質の高いソフトウェアは人間味豊かな人材が生み出す』という企業理念のもと、社員教育やコミュニケーションを大切にしている社内風土が生まれ、多様な価値観が尊重される働きやすい職場環境が実現されています。プラチナくるみんプラス、健康経営優良法人認定なども取得、また男性の育児休業取得率も極めて高いなど、仕事と私生活の調和を図る取り組みが推進されているYSK e-comは、笑顔と活気があふれる企業として目覚ましい発展を続けています。



階段には消費カロリーを表記。ちょっとした工夫で社員の健康意識を高めます



## 不妊治療とはどういうものなのか、 全社員が理解するところから 始めることが大切

不妊治療はどのように進めるもので、どこが大変なのかといった内容を研修資料としてまとめて全社員が受講する取り組みを実施しました。それにより、ベースとなる意識づけができたことが大きなポイントです。不妊治療はセンシティブな問題であるため、休暇取得の声もあげづらい部分がありますので、まず周囲が理解することで、制度を活用しやすくすることが大切です。

### 不妊治療と仕事の両立に関する制度

- 不妊治療休暇(年5日以内に限り特別有給休暇として取得)
- 知識向上・風土醸成に係る教育研修(1回/年)

### 育児に関する制度

- 配偶者分娩休暇(特別有給休暇として2日間)
- 子どもの看護休暇(時間単位で取得可能)
- 出生時育児休業(産後パパ育休) 取得率90%
- 柔軟な働き方として時短勤務やテレワーク

# 安心して働き続けられるよう さまざまな事情を抱えた人たちに 配慮する企業でありたい



**SASAKI** 株式会社 ササキ  
Connecting trust more.



HP

■ 事業所(山梨本部)	■ 設 立	1995年8月1日
■ 住 所	■ 従業員数	435名(うち女性225名)
〒407-0175 山梨県韮崎市穂坂町 宮久保1155-1	■ 事業内容	ワイヤーハーネス製造、電 子機器組立、BPO(ビジネス プロセスアウトソーシング)、半 導体製造装置用部品の 受け入れ、検査、梱包出荷
■ 電 話	0551-22-3733	
■ F A X	0551-30-2266	



## 社員は大切な「人財」。これからもずっと 一緒に歩み続けるための両立支援

企業として不妊治療と仕事の両立支援を考えるようになったきっかけは、実際に不妊治療をされている社員の存在でした。しかしそれ以上に、社会的な問題意識や社員の声、またこれまで子育てや介護などさまざまな両立支援をしていく中で機が熟し、不妊治療と仕事の両立支援にも取り組みたいと考えました。

## 困難に直面している社員の状況が 改善される環境をつくるのが企業の務め

制度はただ作るだけでなく、相談しやすい雰囲気や利用しやすい環境を整えることが必要です。不妊治療に関する研修への参加を呼びかけた際に、自分の経験を話してくれた男性社員がいました。女性からの相談が多いと思い込んでいたので、その声は「まだ表に出せない悩み」に気づききっかけとなりました。制度の運用には研修などで理解を深めることや、コミュニケーションが非常に大事だと思います。



1on1に最適な個室など、プライベートな相談ができる環境が整っています

## その人らしく働き続けてもらうため、 個々に寄り添い、社員と一緒に会社も成長

仕事を続ける中で、結婚、出産、育児、介護、闘病など、人生には様々な転機が訪れます。私たちはその都度、社員と相談しながら最適な「寄り添い方」を一緒に見つけていきたいと考えています。ササキに入って良かったと感じながら働き続けてもらえるよう、これからも両立支援を充実させていきます。



## 不安な思いをひとりで抱え込まないで まずは相談してほしい

休暇制度の拡充に加え、現場の声を吸い上げる努力を継続してまいります。不妊治療をはじめ、さまざまな困難と直面している方の中には、孤独や不安を感じている方も多くはらずです。たとえご夫婦であっても言えないことがあるかもしれません。そんな時、一人で抱え込まず、相談してほしいと思っています。



社員が自由に使えるジム施設も用意

## すべてのステークホルダーを 幸せにする選択を

株式会社ササキは、半導体製造装置や工作機器、精密機器などの産業機器分野のほか、自動車R&D分野と航空・宇宙・防衛分野を中心に電気・電子産業機器用高信頼性ワイヤーハーネスの加工・製造および電子機器の組み立てを手がけている『ワイヤーハーネスのスペシャリスト』企業です。

株式会社ササキでは、ササキと関わる『すべてのステークホルダーを幸せにする』経営理念のもと、取引先に高品質な製品を提供することはもとより、社員のライフステージに寄り添い、子育て支援をはじめとするサポート体制の充実を図るなど、長く安心して働き続けることができる職場環境づくりに創業以来取り組んできました。また、社会・地域に向けたSDGsの取り組み、フードバンク活動支援や学生の職場体験受入など多岐にわたる活動を実施しています。くるみんプラス、健康経営優良法人、もにす認定等を受けるなど、積極的な取り組みは高く評価されています。

Interview

株式会社ササキ  
常務取締役  
サステナビリティ担当  
佐々木麻彩さん



### 不妊治療と仕事の両立に関する制度

不妊治療と仕事の両立を支援するための休暇制度が2種類設けられています。どちらも1時間単位での取得が可能です。

- |                  |                                 |
|------------------|---------------------------------|
| <b>1. 特別有給休暇</b> | <b>2. 不妊治療休暇</b>                |
| ■ 日数：年間最大3日      | ■ 日数：左記の特別有給休暇とは別に、年間上限6日まで取得可能 |
| ■ 給与：有給          | ■ 給与：無給 ※出勤率に影響しない              |

### 育児に関する制度

- |  |   |
|--|---|
| <b>慣らし保育休暇</b>                                   | <b>福利アプリ</b>  |
| 育児休業に連続し、慣らし保育期間に合わせて最大5営業日取得できる休暇制度。1時間単位で取得可能。 | 従業員がお得に買い物をできるアプリ。余暇を充実させるレジャーや宿泊サービス、日常の買い物などに利用でき、多様化する従業員のニーズに応える取り組み。 |

不妊治療は、周囲からは見えにくい様々な負担が伴います。

右ページのアンケートでは、経済的負担や仕事との両立の難しさから、治療を断念した方がいるという現実も見えてきました。

これは決して個人の課題ではなく、社会全体で向き合うべき課題です。

実際、多くの方はすでにできる限りの努力を重ねていますが、

個人の力だけでは乗り越えられない壁があるのが現実です。

少子化が進む今、子どもを願う気持ちや働き続けたいという思いが、

どちらかを諦める選択にならない社会が求められています。

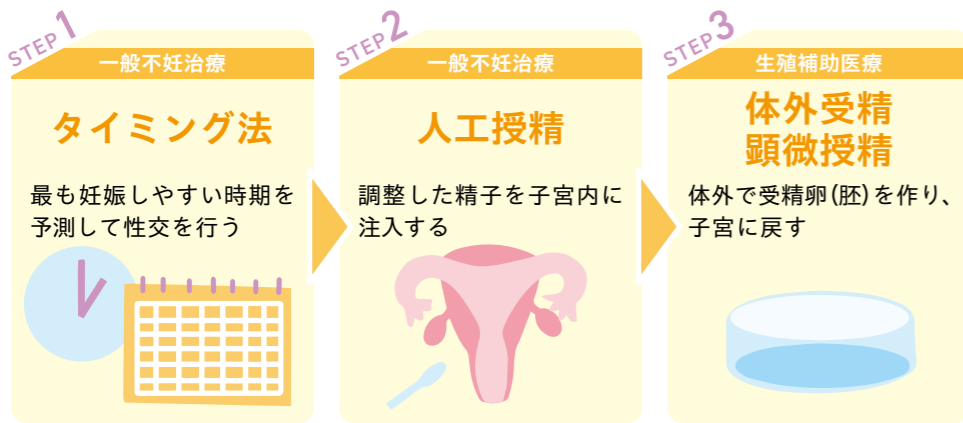


# 不妊治療とは

不妊症とは…  
妊娠を望む健康な男女が、避妊をしないで性交して  
いたにもかかわらず、1年間妊娠しない状態のこと。  
(出展：日本産科婦人科学会)



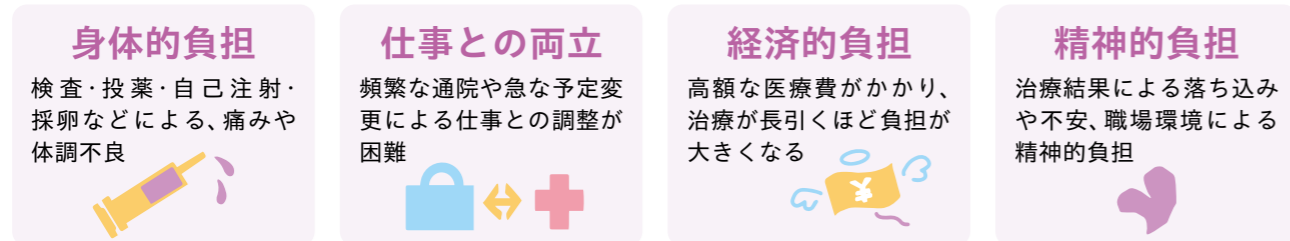
## 治療のステップ



## 通院日数



## 治療による負担



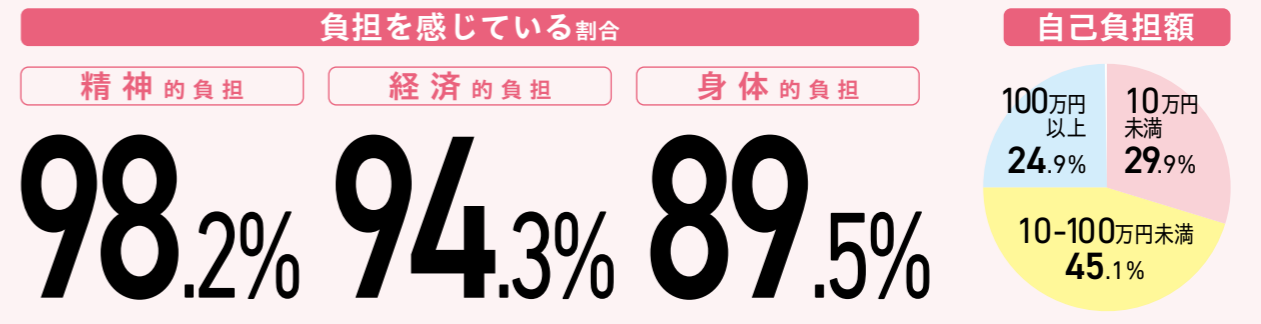
# 不妊治療に関する 意識と実態調査アンケート

本アンケート調査は、20代~50代の県民に対し、不妊治療に関する意識や実態の把握及び支援施策のニーズ等の把握を行い、今後の不妊治療支援施策の推進に活用することを目的に行いました。

対象者 山梨県在住の20代~50代  
調査期間 令和7年7月10日~8月5日  
回答者数 1,963人

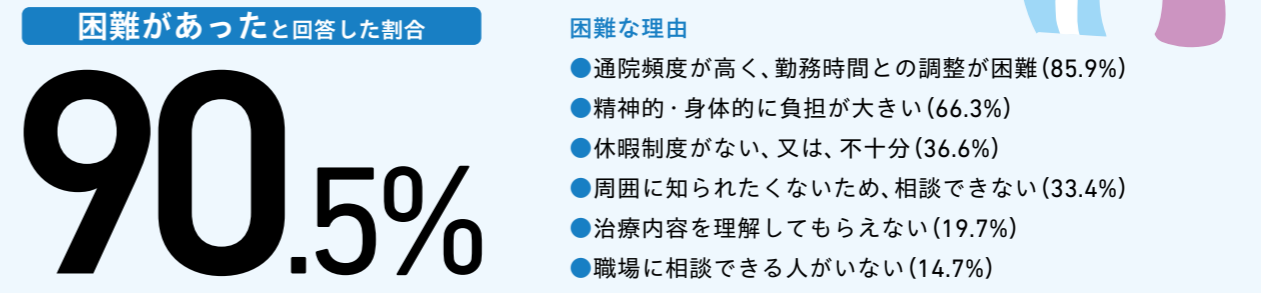
## 重くのしかかる「3つの負担」

身体・精神・経済のすべてにおいて、約9割の人が強い負担を感じていました。



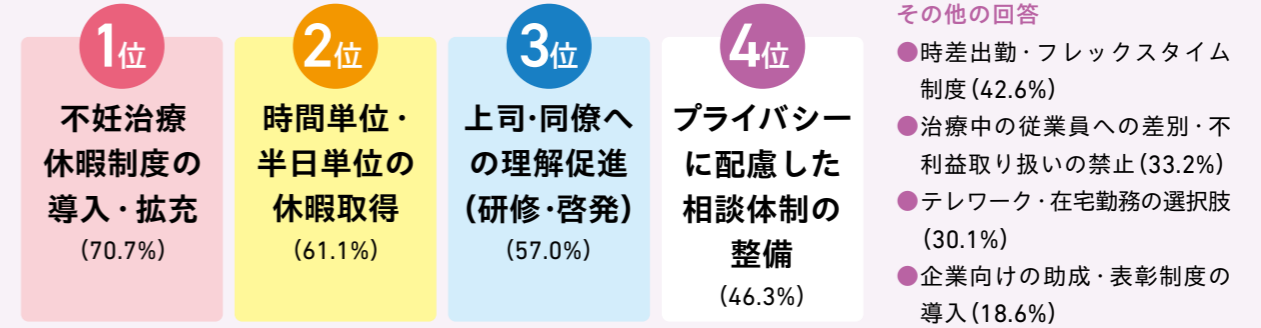
## 仕事との両立における「高い壁」

働きながら不妊治療を受けている方は多い一方で、治療と仕事の両立に困難を感じている方が多数を占めています。



## 職場に求める支援や制度

休暇制度の拡充に加え、実際に活用しやすい社内風土や仕組みづくりが求められています。



# 山梨県で受けられる 不妊治療の支援と相談先

## 不妊治療を行っている 県内医療機関



## 山梨県 不妊・不育の助成情報



山梨県では、不妊・不育症検査、不妊治療のうち保険診療で実施される体外受精・顕微授精と併用して行われた先進医療の治療、保険適用外となる治療、および、ヘパリンを使用した治療など一部の不育症治療について、その軽減を図ることを目的とし、費用の一部を助成しています。

## 山梨県妊活等健康 オンラインサポート事業



思春期、妊娠・出産、不妊・不育、流産・死産、更年期、性の問題等（避妊や性感染症等の性行為に関する相談、予期せぬ妊娠、メンタルヘルスケア、夫婦間のコミュニケーション等を含む）の問題などに関する悩みに対し、SNSを活用したオンライン相談事業の実施しております。

不妊症看護認定看護師や臨床心理士などの専門職にテキストによる相談や通話相談が無料で利用できます。

このパンフレットを読んだ感想を  
お聞かせください。  
アンケートはこちらから



山梨県

YAMANASHI

発行者：山梨県 総合県民支援局 子育て・次世代サポート課

住所：〒400-8501 甲府市丸の内 1-6-1

TEL：055-223-1425 MAIL：kosodate@pref.yamanashi.lg.jp

制作委託事業者：NPO法人フォレシア